

2022年5月24日

横浜市長 山中竹春 様

市民の市長をつくる会 筆頭代表委員 後藤仁敏

「山下ふ頭」再開発計画に対する意見の申し入れ

市民の健康と福祉増進の市政に取り組まれていることに感謝申し上げます。

昨年の横浜市長選挙に、カジノ反対を表明し当選した後、市議会にて「IR カジノ事業撤回」を表明したことに敬意を表します。

このほど市が「内港地区の将来像と山下ふ頭の再開発」について市民からの意見募集をしていることについて書面にて意見をお応募いたします。

1 意見応募の基本的な考え方

1) 山下ふ頭は戦後にノースピアが米軍に接収されたため、横浜経済の発展に欠かせない貿易港の一つとして市財政を投入して建設されたもので、市の貴重な財産です。こうしたことから約 70 年近く市経済発展の重要な施設として貢献してきました。そして、山下公園とともに市民にその存在意義は大きなものがあります。こうしたことから再開発については広く市民の意見を聞き、施策に取り入れることが必要です。

2) 今回の市民意見募集は良いことですが、計画の各段階においても市民意見を募集する機会を設定することや、市議会の議論の透明化なども必要です。

3) 再開発のスケジュールなどは十分な時間的余裕を持ち、最終段階では「市民投票」なども行うことを要望します。

2 具体的な再開発における提案

1) 再開発のイメージについて

再開発のイメージは山下ふ頭が持つ歴史的な経緯を尊重することが必要です。そして、これまでの戦後の歴史的な役割を表明できる歴史性と文化・芸術性ととともに市民交流などができる開放的な雰囲気施設のことが望まれます、そして、山下ふ頭と地続きを生かす市民が憩い集える場所としてのイメージを打ち出してください。

2) 再開発に望まれる施設要素などについて

これまでの物流倉庫群から市民に解放された市施設として市民から望まれる姿に編成することが必要です。市民から多く望まれているのは文化・芸術としては横浜にも以前存在した野外音楽堂などや、親水性などは市民からも期待されています。そして、「横浜平和記念館」や港湾の歴史や役割などの集会施設などが望まれています。

3) 持続可能な再開発を進めること

持続可能な再開発として、生産と消費などを通して人と人がふれ合い生活と生産が同時に行える施策が必要です。

4) 事業者について

実施要項の 2 頁に、登録資格が「純資産 10 億円以上」、「過去 10 年以内に、敷地面積 1 ヘクタールかつ延べ床面積 3 万平方メートル以上の複合開発に携わった実績を有すること」とありますが、これではゼネコンや大手デベロッパーしか資格がなくなります。中小の事業者も応募できるよう変更願います。

5) 住宅の建設も可能にしてください

建築家の山本理顕氏は山下ふ頭に文化花開く「世界町家」構想を提案されています。この構想も応募できるよう、実施要項の 5 頁の提案書には「臨港地区であるために住宅は建築できません。」とあるのを変更し、住宅も建設できるようにして下さるようお願いいたします。

連絡先 市民の市長をつくる会 住所 〒231-0062 横浜市中区桜木町 3-9

電話・FAX 045-650-1896